

都市再生整備計画事業 事後評価シート
妻北地区

平成28年3月25日


宮崎県西都市

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	宮崎県		市町村名	西都市		地区名	妻北地区			面積	142ha		
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	457	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名									
			提案事業	道路(記紀の道)、高質空間形成施設(記紀の道)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業活用調査(歴史を活かしたまちづくり推進調査、まちづくり事業効果分析)		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	まちづくり活動推進事業(まちづくりシンポジウム開催)		関連する施設整備の進捗等に合わせた削除			指標1及び指標2を下方修正				
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(酒元通線)、地域生活基盤施設(桜川親水広場(仮称))		関連する施設整備の進捗に合わせた削除			影響なし				
			提案事業	事業活用調査(歴史的景観がドライブ検討調査)、まちづくり活動推進事業(記紀の道活用レクリエーション社会実験、無料巡回バス社会実験)		ネットワークの強化および農地の景観の保全のため追加			影響なし				
交付期間の変更		当初	平成23年～平成27年		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	変更なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	記紀の道・逢初川歩行者専用道路の利用者数	延人/年	2,971	H22	8,000	H27	モニタリング	評価値	○	ありなし	記紀の道の整備や、高質空間形成施設である照明や四阿の整備による直接的な効果に加え、稚児ヶ池公園の芝生広場による間接的な効果等により、利用者数が増加した。	-
	指標2	桜川の通行者数	延人/年	63,875	H22	100,000	H27	-	56,210	×	ありなし	中心市街地へのにぎわいの波及効果を目的に、桜川歩行者専用道路やこれに接続する記紀の道の等の整備を実施したものの、桜川の通行者数の増加には至らなかった。	H28.8
	指標3	住民の当該まちづくりの満足度	%	75	H22	80	H27	-	83	○	ありなし	自然や歴史文化を活かした記紀の道や桜川歩行者専用道路の整備等を実施した結果、当該まちづくりの満足度が向上した。	-
	指標4	市民グループによるまちづくり活動	延人/年	464	H21	700	H27	-	665	△	ありなし	市民グループの活動の場となる記紀の道や稚児ヶ池地区公園の整備、地域ボランティアへの活動支援等の直接的効果等により、市民グループによるまちづくり活動の参加人数が増加した。	H28.5
	指標5										ありなし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	まちなかギャラリー夢たまごの来場者数	人/年	14,057	H21			モニタリング	10,519	-	ありなし	記紀の道の基盤整備や地域ボランティア活動支援等における間接的な効果により、中心市街地に立地するまちなかギャラリーにも波及効果がみられ減少傾向であった来場者数は、近年は増加傾向にある。	H28.5
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	-												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング			-				-					
	住民参加プロセス			「まちづくりシンポジウム(宮崎まちづくり塾in西都)開催」や「歴史を活かしたまちづくり推進調査(まちづくりワークショップ)」の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
持続的なまちづくり体制の構築			①市民で管理する花だん等の記紀の道への設置とともに整備情報の共有を行った結果、整備箇所を自発的に行うようになった。②当地域の地域づくり協議会と記紀の道の活用について協議を重ね、整備箇所を積極的に活用等されるようになった。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要


妻北地区 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値		
大目標：古代からの歴史文化を活用し、にぎわい交流による地域再生と豊かな住環境を形成するまちづくり 目標1：安心して快適に暮らせる豊かなまちにしていくためのネットワーク整備 目標2：自然環境の保全と景観に配慮した歴史・文化を活かしたまちとしての魅力づくり 目標3：まちを育み、継承する人材づくり	記紀の道・逢初川歩行者専用道路の利用者数	延人/年	2,971	H22	8,000	H27	12,932	H27	
	桜川の通行者数	延人/年	63,875	H22	100,000	H27	56,210	H27	
	住民の当該まちづくりの満足度	%	75	H22	80	H27	83	H27	
	市民グループによるまちづくり活動	延人/年	464	H21	700	H27	665	H27	
	まちなかギャラリー夢たまごの来場者数	人/年	14,057	H21	-	-	10,519	H27	



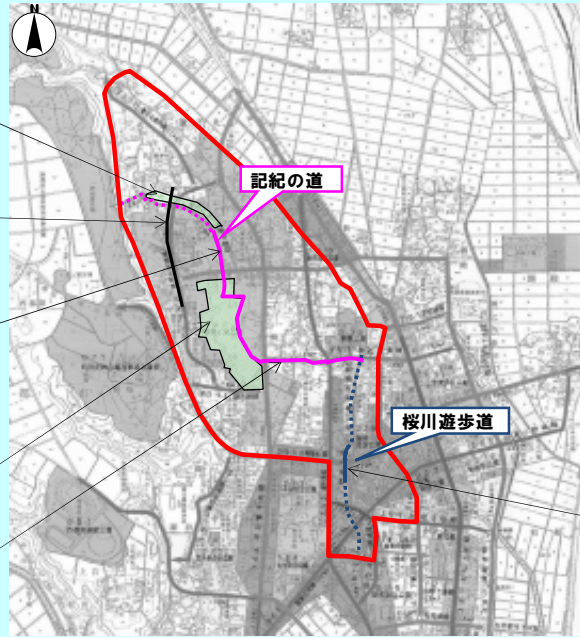
記紀の道



記紀の道



稚児ヶ池地区公園




凡例


- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

- 基幹事業**
〔地域生活基盤施設〕
記紀の道(広場・駐車場)
- 関連事業**
道路事業(稚児ヶ池通線)
- 基幹事業**
〔道路・高質空間形成施設〕
記紀の道(逢初川歩行者専用道路)
- 関連事業**
地域ボランティア活動(記紀の道)
- 関連事業**
公園事業(稚児ヶ池地区公園)
- 関連事業**
道路事業(神社前通線)
- 提案事業**
〔事業活用調査〕
歴史を活かしたまちづくり推進調査
まちづくり事業効果分析

〔まちづくり活動推進事業〕
まちづくりシンポジウム開催
- 関連事業**
公共下水道事業(妻北地区)
市道改良事業(妻北地区)
- 基幹事業**
道路(桜川歩行者専用道路)



桜川歩行者専用道路(道路)



桜川歩行者専用道路(道路)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・西都原古墳群と中心市街地を結ぶネットワークの形成強化という課題に対し、記紀の道の整備によりネットワークが強化されつつあるが、今後も引き続き未整備区間の整備が必要。 ・歴史を活かしたまちづくりの推進という課題に対し、地元や学識経験者等が一体となって歴史を活かしたまちづくりを進めており、引き続き当該まちづくりの推進が必要。 ・市民が参加するまちづくり体制の構築という課題に対し、市民が参加する多くのまちづくり体制が構築されつつあるが、引き続きの組成や組織間の連携強化が必要。 ・この他、中心市街地の魅力づくり、西都市内に点在する観光地の回遊性の向上、市の魅力発信や周辺市町村との観光面での連携、観光客および高齢者が利用しやすい環境整備について取組む必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・西都原古墳群と中心市街地を結ぶルートの未整備区間の整備実施と整備済み区間の適正な維持管理を行い利用を促進する。 ・歴史を活かしたまちづくりとして、点在する歴史的資源や伝承地の魅力を更に高める。こうしたまちづくりについて、地元や学識経験者等が一体となった既存組織を活用して検討を行う。 ・市民が参加するまちづくり体制を維持するために、取組内容の周知等により若者を含め新たな参加を促進する。 ・中心市街地へ人が訪れる魅力づくりを行うため、中心市街地での多世代が交流可能な空間整備や魅力の発信を行う。 ・市内に点在する観光地の回遊性を向上するため、市内観光地の回遊ルート等の創出を行う。 ・市の魅力発信や周辺市町村との観光面での連携として、観光情報の積極的なPRや周辺市町と連携イベント等を行う。 ・観光客および高齢者が利用しやすい環境整備として、公共交通機関によるネットワーク構築等を行う。